

甲状腺疾患へのZEN ホメオパシーの有効性



日本ホメオパシーセンター福島駅東口

JPHMA認定ホメオパスNo,1015

JPHF認定インナーチャイルドセラピストNo,0325

櫛田 美智恵 (くしだ みちえ)

症例

- 40代 女性
- 主訴 甲状腺機能亢進症と低下症
- 具体的な症状
 - ・ 甲状腺の腫れ、ムーンフェイス、赤ら顔
 - ・ 眼球突出、複視、
 - ・ 膿性鼻漏
 - ・ 頭痛、動悸
 - ・ 筋肉のこわばり、痛み、手足のつりやすさ
 - ・ 精神的な不安定さ

■相談会に至る経緯

2019年3月 甲状腺機能亢進症発症

2019年4月 甲状腺眼症悪化によりステロイドパルス療法

2019年5月 甲状腺眼症変化なく放射線照射療法

2019年7月 甲状腺機能低下症へと移行

(筋肉痛増悪あり歩行困難など出現)

2020年5月 薬剤で甲状腺機能亢進状態へ戻る

(投薬で改善し↓ない場合には手術の方針)

当センター相談会スタート

■本人諸状況

- ・ 予防接種：インフルエンザワクチン15回B型肝炎ワクチン1回
- ・ 家族病歴：母一急性リンパ性白血病

■体質

- ・ 考え事が途切れずイライラし熟睡できない
- ・ 汗をよくかく

■性格

- ・ 子供の頃から他人に心を知られたくない
- ・ 言動が矛盾している人に腹が立つ

■タイムライン

- ・ 学業期..成績優秀、スポーツ万能（父親の教育）
- ・ 34歳 ..適応障害（完璧に仕事をしたい自分とルーズな同僚と不和、動悸）
- ・ 36歳 ..結婚（嘘と金銭感覚がルーズな夫との争いが耐えず）
- ・ 38歳 ..出産（夫、義理両親に歓迎されず激しい怒り）
- ・ 40歳 ..別居（夜逃げのように子を抱え家を出る）
- ・ 41歳 ..甲状腺機能亢進症発症（職場での人間関係トラブル、ワンオペ育児）
- ・ 42歳 ..甲状腺機能低下症併発

■2020/05/19 第1回目相談会

TBR (The Bonninghausen Repertory)

- ・ 2 2 7 甲状腺
- ・ 1 1 7 5 腺の炎症
- ・ 3 9 眼球突出
- ・ 1 9 1 9 <視覚的労作
- ・ 5 2 複視
- ・ 6 0 4 心臓
- ・ 1 1 2 7 内面の浮腫
- ・ 1 0 4 2 肥満

■ 2020/05/19 第1回目選択レメディ

随時) サポートΦ甲状腺 (Calc-p9x + Ars-i12x)

朝) Sulph LM02..抗かいせん、TBR第5位

昼) Tub LM03..遺传的傾向、アレルギー

夜) Lyc LM04 ..TBR第2位 過剰な精神活動
と思考、抗かいせん

+

アドバイス

- ・ 自然な食事と生活

■2020/08/03 第2回目相談会

- ・ 激しい眠気（仕事中、運転中さえ）
- ・ 緑黄色の粘液の塊が多量に鼻腔から出る
- ・ 首～腕にかけての痒みと痛みある皮膚湿疹
- ・ 胃痛、胸焼けが激しく食事が摂れない
- ・ さらに汗をかきやすくなった
- ・ 脱毛

好転反応！

体の働きを信頼するよう励ます

人間関係、その中でも「自分」、仕事に力を入れる

■第2回目 相談会TBR

- ・ 2 2 7 甲状腺
- ・ 1 1 7 5 腺の炎症
- ・ 3 9 眼球突出
- ・ 5 2 複視
- ・ 1 0 1 2 粘膜の炎症
- ・ 5 7 7 コリーザ（流れる鼻汁）
- ・ 6 4 0 心臓
- ・ 7 0 7 汗をかきやすい
- ・ 1 7 2 2 <太陽の熱

■2020/08/03第2回目レメディ選択

随時) ①サポートΦ心臓 (Ars-i12x+Thuj30c)

②サポートΦ甲状腺 (lizun-w30c)

朝) Iod LM03..粘膜炎症、甲状腺、不機嫌

昼) Syph LM04..破壊傾向

夜) Bell LM05..TBR 1位、眼球突出、炎症

＋
アドバイス

良質な睡眠の確保と生活リズム

■2020/03/30 第3回目相談

- ・筋肉の張りや痛みがひどくなった
- ・皮膚発疹が、体幹～下肢へ移動し皮膚末端が剥ける
- ・引き続き、鼻腔から黄色いドロツとした鼻汁
- ・過食と体重増加
- ・眼球結膜に粟粒状のイボが数個出現
- ・肉眼的血尿と排便に鮮紅血が混じる
- ・育児への罪悪感（ダメと知） ←感情日記スタート！
- ・元夫への激しい怒り浮上

■第3回目TBR

- ・ 2 2 7 甲状腺
- ・ 3 9 眼球突出
- ・ 6 1 羞明
- ・ 5 2 複視
- ・ 1 0 1 2 粘膜の炎症
- ・ 2 0 3 8 <月経前
- ・ 2 3 0 ひりひりする痛み
- ・ 3 0 9 むさぼり食う

※ここからはFT4,3が正常値「#1175腺の炎症」は外す

■2020/03/30 第3回目レメディ選択

随時) ①サポートΦ神経

(St-PSL-D30C +Hepat-B-V30c +
Inf-v-c12c +Thym-g12x)

②サポートΦ副甲状腺 (Adren-c-m-c12c)

朝) Merc-sol LM04..TBR1位、水銀、罪悪感

昼) Med LM05..激しい炎症

夜) Bell LM06..引き続きポーテンシー
を上げて

■2021/07/05 第4回目相談

- ・発汗時皮膚湿疹あるが「不要なものが出てるんだ」と受け入れられるようになった

このころ相談会で認められた心の変化

泣きながら話す→抑圧していた感情に自分で気付けるようになり排泄できるようになった

激しい怒り 悔しさ

無条件に愛されていなかった自分を知る

それは..苦しく悲しい認めたくない事実

真にインチャを癒す最初的一步！

■第4回目TBR

- ・ 2 2 7 甲状腺
- ・ 3 9 眼球突出
- ・ 5 2 複視
- ・ 1 9 1 9 <視覚的労作
- ・ 7 0 7 発汗傾向
- ・ 2 0 3 8 <月経前
- ・ 2 3 0 乳房
- ・ 1 0 9 5 ひりひりする痛み

■2021/07/05第4回目レメディ選択

随時) ①サポートΦ腎臓

(RX-RA + Horm-Thyradi-D30c

②サポートΦ肝臓 (Otoshim-w30c)

朝) Nat-m LM05..TBR7位、苦しかった人生

昼) Med LM06 + Psor LM06..優秀で愛されたい
+ 無条件に愛されたい

夜) Bell LM07..引き続き

信仰心へのアドバイス スタート



人生は「無条件の愛」に戻るための魂の旅

結果

■ 身体

大きく改善

- ・ 頭痛、動悸
- ・ 筋肉のこわばり、痛み、手足のつりやすさ
- ・ 精神的な不安定さ

やや改善

- ・ 甲状腺の腫れ、ムーンフェイス、赤ら顔
- ・ 眼球突出、複視、目の充血、見えにくさ

■ 血液検査所見

- ・ **約1年半で甲状腺ホルモン値全て正常範囲**

■ その他

- ・ 外来受診間隔⇒ 1回/2ヶ月→1回/4ヶ月

身体的経済的負担軽減

全甲状腺ホルモン値の推移

ZENホメオパシー介入

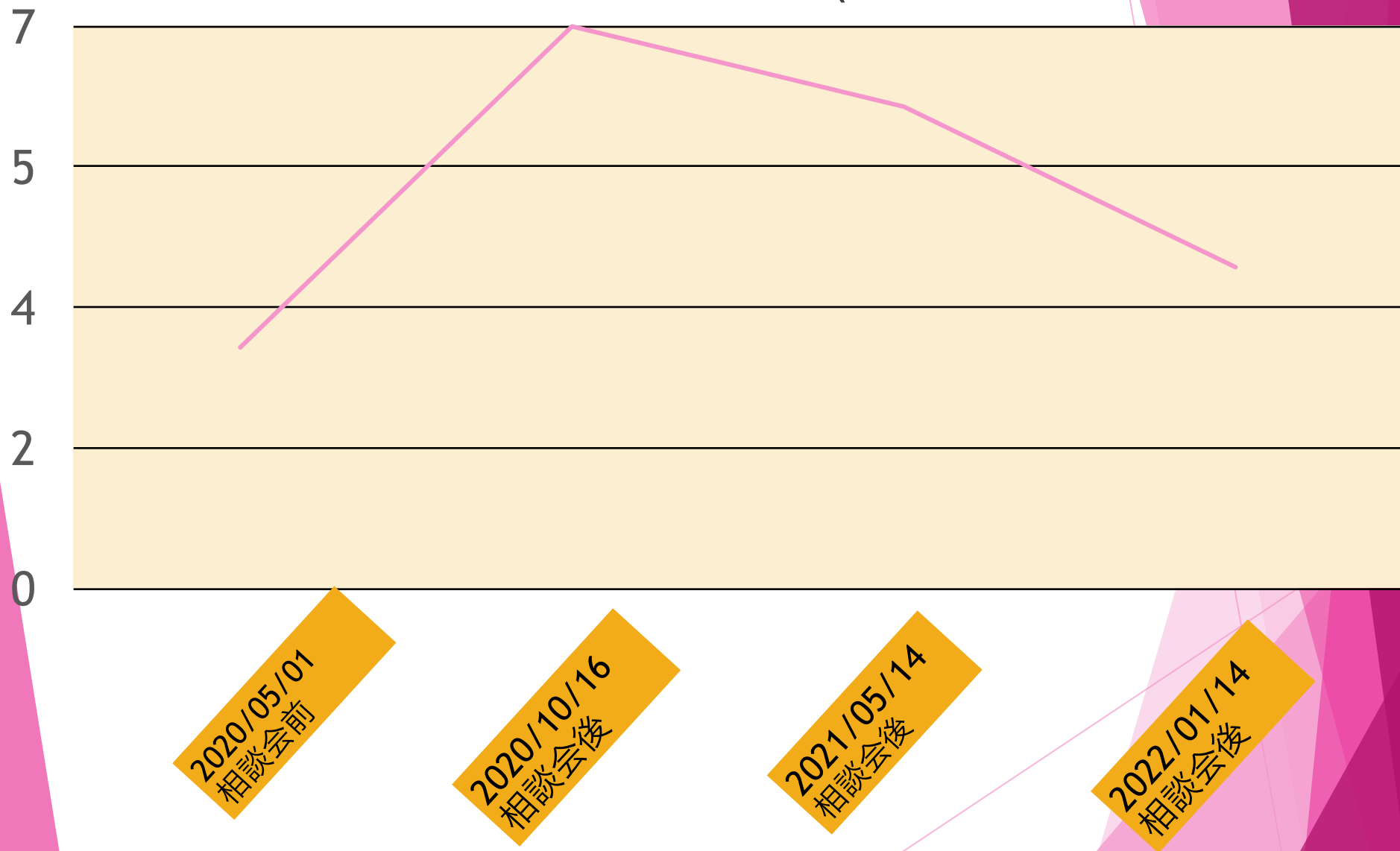
全て正常範囲

検査名	2020/5/1	2020/10/16	2020/12/17	2022/1/14	2022/5/13
TSH	0.153 L	0.046 L	0.066 L	1.443	1.381
FT4	1.93 H	1.65	1.49	1.17	1.25
FT3	2.77	3.00	2.51	3.29	2.78
TRAb	0.783	3.53 H		1.49	
TSAb	178 H	612 H	315 H		110

【基準値】

- ・ TSH (甲状腺刺激ホルモン) 0.340~3.880μIU/ml
- ・ FT4 (遊離サイロキシン) 0.95~1.74 ng/dl
- ・ FT3 (遊離トリヨードサイロニン) 2.13~4.07 pg/ml
- ・ TRAb (TSH受容体抗体) 0.0~2.0 IU/L
- ・ TRAb (TSH受容抗体) 120% 以下

好酸球比 (正常値0~6)



■心

- ・ 元夫と向き合う
- ・ 完璧な親でなくても良いと思え育児が楽になり
母と子で生きる人生に自信が持てるようになった
- ・ 感情が動く時、自分の心を見つめるようになった

■魂

- ・ 毎晩5歳の娘と共に亡き母へ「今日も見守ってくれてありがとう」と祈る習慣がついて心が落ち着くようになった。
- ・ 育児や生活で人々の協力を感じ感謝の気持ちが増えた

考察

身体

①サポートΦシンクチャー有効性

Φ甲状腺	臓器機能
Φ副甲状腺	Ca ⁺ 治療と代謝の問題
Φ心臓	甲状腺ホルモンの心臓への影響
Φ神経	ホルモン分泌ネガティブフィードバックの持続的な安定、適応障害 治療時の脳内神経伝達物質の混乱
Φ肝臓	怒りの人生、抑圧された悔しさ
Φ腎臓	根底にある愛されない恐怖

②トートパシー：同じものを使う有効性

ハーネマン 『慢性病論』 §207

「どんなアロパシーの治療を受けてきたか、特に作用の激しい薬として最も多く使ったのはどんな薬か」



甲状腺機能亢進治療薬、ステロイド、放射線、

B型肝炎ワクチン、インフルエンザワクチン

③自然な食事と生活習慣の大切さ

水銀 (TBRにて常に上位)
1) とようけ自然農のお野菜や調味料

2) 日中は日光を浴び動いて、夜は寝る

① Bell (メインレメディ) 継続する

心

RA:序文、悪性の喉の疾患

RA:1404、怒りっぽくなっている自分自身にさえ

② インナーチャイルド癒しの大切さ

夫への激しい怒り⇒ 父親への憎悪の発見

~~自身を大事にするための心の気づき~~
インチャ癒しによる心の変化の根拠

- ・元夫との関係を逃げずに清算させる
- ・新型コロナ感染予防として自己治癒力を上げてゆく方法を自ら選んだ
- ・育児中の罪悪感が減り、今を大事にする

魂

当ケースマヤズム

Tub

- 愛されるため 特別な人物になるべく頑張る
価値観の解放、インチャ癒し

Syph

- 愛されたくて誰よりも勝ちたい負けたくない
価値観の解放、インチャ癒し

Med

- 愛されたくて優秀さ完璧さを目指して必死
に頑張る価値観の解放、愛されずボロボロ
になったインチャ癒し

Psor:ただありのまま愛されたい

結論

複雑化した甲状腺機能問題への ZENホメオパシーの臨床的有効性

副作用がなく、根本的に、三位一体
で癒せるZENホメオパシー




身体

心

魂

複雑化した基礎疾患を自然な状態へ
と戻し、生きる勇気と力を取り戻し
ありのままの幸せへと導く



おわりに